

# ペリーの子孫に 歓待の酒を再び

岡本亀太郎本店

蒸留酒など製造の岡本  
亀太郎本店（広島県福山）



市、岡本憲良社長（とも）などは、江戸末期に黒船を率いて来航し日本を開国させたペリー提督の子孫に

福山市鞆（とも）地区特産の「保命酒（ほうめいしゅ）」<sup>写真</sup>を献上する。同提督が幕府主催の宴席で保命酒を飲んだという逸話に基づき、二十一日に静岡県下田市を訪れる子孫らに食前酒として振る舞う。

保命酒を飲むのは、ペリーから数えて六、七代目の直系子孫十三人を含む親類二十五人。二十一

福山市鞆（とも）地区特産の「保命酒（ほうめいしゅ）」<sup>写真</sup>を献上する。同提督が幕府主催の宴席で保命酒を飲んだという逸話に基づき、二十一日に静岡県下田市を訪れる子孫らに食前酒として振る舞う。

岡本亀太郎本店と、保命酒を使った菓子五商品を企画した食品卸、中島商店（同、中島良昭社長）が了仙寺の松井大英住職に働き掛けて実現した。

保命酒はみりんに十六種類のハーブを漬け込んで造る混成酒（リキュール）で、三百年以上の伝統を持つ。ペリーには一八五四年の日米和親条約締結後、老中筆頭だった当時の福山藩主、阿部正弘が宴席で出している。

らが下田まで保命酒を持参する。「保命酒の全国での知名度向上を図りた日に来日した。二十一日は同市内の了仙寺で、「ペリー提督応接料理の再現」行事に参加する。

保命酒はみりんに十六種類のハーブを漬け込んで造る混成酒（リキュール）で、三百年以上の伝統を持つ。ペリーには一八五四年の日米和親条約締結後、老中筆頭だった当時の福山藩主、阿部正弘が宴席で出している。